

平成29年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 市7

銚子市立銚子高等学校 全日制の課程 普通・理数科

1 期待する生徒像

本校の設置目標や教育目標を理解し、3年間の高校生活を通じ、文武両道を目指して、学業や部活動・生徒会活動等に積極的に取り組む強い意志と意欲を有している者

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査
(2) 調査書	中学校から送付された調査書
(3) 自己表現	次のア、イのいずれかを、出願時に受検者が選択 ア 口頭による自己表現 日本語による自己アピール イ 実技による自己表現 次の部活動実技のうち1つを選択 野球・陸上競技・バスケットボール・バレーボール サッカー・卓球・ソフトテニス・剣道・柔道・弓道 ラグビー・空手道・吹奏楽・水泳

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値を 選抜方法（i）においては1.0を乗じた数値で評価する。 選抜方法（ii）においては0.6を乗じた数値で評価する。 評定1の教科または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年の記録について数値化して評価する。 3年間の欠席が合計30日を超える場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○印が一つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 及び部活動の記録	各種大会における成績及び各活動実績により数値化して評価する。
オ 特記事項	各種検定により取得した資格を数値化して評価する。
カ 総合所見	特に優れた内容等について評価する。

(3) 自己表現

自己表現の各評価基準を基に、複数の評価者がそれぞれの評価をつけ、その後協議のうえ、A～Cの3段階で評価する。

ア 口頭による自己表現（日本語による自己アピール 1名1分程度）

評価項目	評価基準
ア 内容・テーマ	自分の体験をもとにしているか。きっかけや動機、本人が得たもの、今後の展望などについて、しっかり説明できているか。
イ 表現力・意欲	表現力豊かにかつ意欲的に伝えているか。
ウ 話し方・態度	明瞭かつ正しい言葉遣いで話しているか。挨拶等の基本的作法ができているか。

イ 実技による自己表現（文化系）

評価項目	評価基準
ア 基本技術	基本的な技術を身につけているか。
イ 意欲	意欲を持って取り組む姿勢が見られるか。
ウ 表現力・独創性	表現力・独創性があるか。
エ 将来性	将来にわたる活躍が期待できるか。

ウ 実技による自己表現（運動系）

評価項目	評価基準
ア 基本的な技能	基本的な運動能力を身につけているか。
イ 意欲	意欲を持って取り組む姿勢が見られるか。
ウ 専門技能	専門的な技術・運動能力を身につけているか。
エ 将来性	将来にわたる活躍が期待できるか。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査の成績」、「調査書」及び「自己表現の結果」等の各評価をもとに総合的に判定して入学者の選抜を行う。

(i) 「学力検査の得点」及び「調査書のアにイ・オ（上限15点）を加えた得点」で、それぞれ順位を付けたとき、共に前期選抜の予定人員の80%までをA組として、入学許可候補者内定者とする。ただし、特に問題となる審議事項がないことを条件とする。

(ii) 上記の(i)で決まらなかった者をB組として、「自己表現の結果」を優先し、「学力検査の得点」、「調査書のアにイ・エ・オ（上限69点）を加えた得点」の合計点で順位を付け、慎重に審議しながら総合的に判定し、入学許可候補者内定者とする。

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取扱いをすることがないように十分に留意する。

イ 入学許可候補者内定者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が、細部協定書の範囲内であることを確認する。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面接を行う。